

令和6年度 外務省当初予算(ODA)の概要

I. 令和6年度外務省当初予算(ODA)

(単位:億円)

	令和5年度			令和6年度		
	当初	対前年度		当初	対前年度	
		増▲減額	増▲減率		増▲減額	増▲減率
政府全体	5,709	98	1.7%	5,650	▲60	-1.0%
うち外務省所管	4,428	0.2	0.0%	4,383	▲46	-1.0%
無償資金協力	1,634	1	0.1%	1,562	▲72	-4.4%
JICA運営費交付金等	1,519	1	0.1%	1,481	▲37	-2.5%
分担金・拠出金	513	▲108	▲17.4%	540	27	5.2%
援助活動支援等	763	107	16.2%	800	37	4.8%

(注)四捨五入の関係上、合計等に不一致あり。

(参考) 令和5年度補正予算におけるODA予算

(単位:億円)

	令和5年度 補正追加額
政府全体	3,284
うち外務省所管	2,317
人々の生活や日本企業を守るための施策	587
国際社会の平和と安定の確保のための施策	1,238
地球規模課題の解決に貢献するための施策	462
外交・領事実施体制の抜本的強化と在留邦人支援のための施策	29
うち法務省所管	3
うち財務省所管	765
うち文部科学省所管	2
うち厚生労働省所管	192
うち農林水産省所管	2
うち環境省所管	2

II. 令和6年度外務省当初予算(ODA)の形態別概要

- 無償資金協力 1,562億円 (▲72億円、▲4.4%)
- JICA運営費交付金等 1,481億円 (▲37億円、▲2.5%)
- 令和6年度当初予算においては、厳しい財政事情も踏まえながら限られたリソースの中で最大限の効果が得られるよう、新たな開発協力大綱の下、民間資金動員型ODAを含むオファー型協力等を効果的かつ戦略的に活用し、「人間の尊厳」を守る、日本らしい、きめ細かな開発協力に必要な予算を計上。

- ODA分担金・拠出金 540億円 (+27億円、+5.2%)
- 分担金及び義務的拠出金(総額304億円(▲35億円、▲10.4%))については、国際機関の会計年度も踏まえ、令和6年中に国際機関側に支払うべき予算を計上。
- 任意拠出金(総額236億円(+62億円、+35.7%))については、我が国の予算制度等を総合的に勘案し、マルチ外交や国際機関との関係に鑑み、最小限必要となるものを計上。

- 援助活動支援等 800億円 (+37億円、+4.8%)
- 在外公館における経費 等